



Endo Kikyo Maternity Clinic

ひらく先生の
マタニティだけじゃないブログ

子宮内膜症って どんな病気？

子宮内膜症とは？

子宮内膜症は、子宮内膜に似た組織が子宮以外の場所にでき、女性ホルモンの影響で炎症や痛みを起こす病気です。

【子宮内膜症がしやすい場所の例】：卵巣・腹膜・子宮のまわり・腸や膀胱の近く

※病変ができると、生理のたびに炎症をくり返し、痛みや癒着、不妊の原因になることがあります。

子宮内膜症はどうして起こるの？

はっきりわかっていない部分もありますが、現在有力とされている考え方のひとつに、月経の血液の一部が卵管をとお腹の中へ逆流し、その組織が残ってしまうという説があります。

その組織もホルモンの影響を受けるため、生理のたびに炎症が起こり、少しずつ症状が強くなる可能性があります。

こんな病気につながることもあります

卵巣の子宮内膜症 ※チョコレート嚢胞：卵巣の中に古い血液がたまり、腫れてしまう状態。卵巣に古い血液がたまる「チョコレート嚢胞」と呼ばれることがあります。

子宮腺筋症

子宮の壁（筋肉層）の中に組織が入り込み、子宮が肥大することにより、強い生理痛や経血量の増加を伴う。

深い場所の病変

腸や膀胱の近くにできると、排便痛や強い骨盤痛の原因になることがあります。

子宮内膜症にはどんな治療があるの??

症状や年齢、妊娠希望の有無に応じて、治療法を相談していきます。

治療の例 鎮痛薬・低用量ピルなどのホルモン治療
黄体ホルモン製剤・子宮内黄体ホルモン放出システム(IUS)・手術治療

「痛みを減らすこと」「病気の進行を抑えること」「将来の妊娠に配慮すること」などを考えながら、一人ひとりに合った方法を選びます。

【受診の目安】※次のようなときは、婦人科への相談をご検討ください。

- ・市販薬で抑えにくい生理痛がある・日常生活に支障が出ている
- ・生理以外の痛みもある・生理のたびに症状が強くなっている・妊娠しにくさが気になる



副院長 医学博士 遠藤 拓先生

当院は分娩を取り扱うマタニティクリニックですが、マタニティ（産科）前後の女性の悩み事、婦人科関連の情報や、社会情勢についての情報を皆様にお伝えできたらと思っています。